

第5章 全体の評価と今後の課題

第2次留萌市健康づくり計画を策定してから5年が経過し、市民一人ひとりや地域、各関係機関が計画の目標達成に向けて取り組みを実施してまいりました。

今回の中間評価では、6分野の41項目における目標値が最終年度目標達成に向かって進んでいるかを確認し、取り組みの推進方策の方向性について検討を行いました。

改善していると評価した目標は、全41項目中、23項目であり、目標達成は約5割の結果でした。

分野別で見ると、「2. 食生活・栄養」「4. 歯と口腔の健康」に関する目標は、策定時から全項目が目標達成し改善していました。「3. 身体活動・運動」は5割、「5. たばこ・アルコール」は6割が目標達成していましたが、「1. 生活習慣病・がん（悪性新生物）」は約2割、「6. 休養・こころの健康」については約3割の目標達成にとどまりました。

目標達成が2～6割の「1. 生活習慣病・がん（悪性新生物）」「3. 身体活動・運動」「5. たばこ・アルコール」「6. 休養・こころの健康」の分野では、中間評価時期が、新型コロナウイルス感染症の流行時期とも重なり、統計や健康データ、健康づくりに関するアンケート調査結果において、特に影響があった分野が多かったと考えます。また、健康管理への意識はあり、生活改善の必要性を感じながらも、時間的な余裕がない様子も伺えました。今後の課題としては、肺がんや胃がん、循環器疾患による死亡数が高い、がん検診や特定健康診査の受診率が低い、喫煙率が高い、毎年数名の自殺者が存在しているなど、多くの課題があり、生活習慣病予防や自殺予防対策を推進していくため、取り組みの強化が必要です。

目標を達成した「2. 食生活・栄養」「4. 歯と口腔の健康」の分野についても、改善はしているものの、肥満や高血圧・高血糖の割合が高い、野菜摂取量が少ない、歯肉炎・歯周疾患の受診件数が高い、口の健診を定期的に受けていない人が半数以上いるなどの課題も見え、全体の割合から見ると改善が必要な項目もあるため、今後も取り組みの継続が必要です。

計画の推進については、今後も市民一人ひとりが健康に対する意識を持ち、知識を高めるとともに、健康づくりに主体的・継続的に取り組んでいくことが大切です。また、家庭や地域、さらには関係機関・団体等や行政が連携し、健康づくりを守り・支える環境を整備していく必要があります。

今後5年間は、計画の最終評価に向けて、「市民・家庭の取り組み」「地域の取り組み」「行政の取り組み」の推進方策の方向性は継続としつつも、課題として見えた内容については、取り組みを強化して目標達成に向けて進めていき、令和8年度において最終評価を行います。

資 料 編

